


テ	マ	中ブロック災害時における栄養・食生活支援ネットワークに関する研修会
目	的	災害の発生に備え、市町村、保健所、関連機関等との連携を強化することを目的とし、大阪府八尾・藤井寺・富田林保健所管内特定給食研究会及び三保健所の共催にて、地域の関係機関を対象にネットワークづくりを推進する。
対	象・参加者数	中ブロック保健所管内特定給食施設関係者、地域活動栄養士、食生活改善推進員、中ブロック保健所管内市町村栄養行政担当者 合計 200 名
実	施 主 体	大阪府八尾・藤井寺・富田林保健所管内特定給食研究会 大阪府八尾・藤井寺・富田林保健所
実	施 時 期	平成 25 年 10 月 18 日（金） 午後 1 時 30 分～4 時 30 分
内	容 ・ 方 法	<p>1 講 演(1) 「危機管理時の食生活(支援)を考えよう～給食施設・家庭での備え～」 講師 名寄市立大学保健福祉学部栄養学科 准教授 千葉 昌樹氏</p> <p>2 事例発表 「四天王寺和らぎ苑の備蓄とグループ内連携」 発表者 四天王寺和らぎ苑 栄養士 竹川 真理子氏</p> <p>3 グループワーク 「地域や施設間の助け合いのために出来ること・しなければいけないこと」 地域ごとに35グループに分かれ、災害に備えてどのようなことができるかについて意見交換した。</p> <p>4 講 演(2) 「求められる災害時の対応と平常時からの備え ～もし、あなたの街で大地震が発生した場合、その時あなたは何をしますか?～」 講師 名寄市立大学保健福祉学部栄養学科 准教授 千葉 昌樹氏</p> <p><u>講演内容</u> ●東日本大震災の被災現場状況をもとに、被災者の食の実態と公助の限界び、自助・共助の大切さについてご講演いただいた。 ●特に給食施設においては利用者の食糧確保に責務があるだけでなく、大規模災害発生時には地域への役割が期待されている。平常時から施設内だけでなく他施設・他機関・他団体とネットワークを構築していくことが必要。 ●災害時対応マニュアルに衛生管理についての内容が抜けていないか、給食部門だけでなく施設全体で共有できているか、訓練も含めた体制強化を図っているか、など各施設の備えについて具体的にアドバイスをいただいた。 ●その他、施設間で相互支援をする場合に予め決めておくべき支援内容、必要な備蓄を確保する工夫、などについて具体的な紹介があった。</p> <p><u>講師紹介</u> 千葉 昌樹 先生 1979年4月～ 北九州市小倉市立病院勤務 1980年2月～ 北海道の各保健所、生活福祉部社会老人課、高齢化・地域福祉対策室、保健環境部成人保健課保健福祉部地域保健課、保健医療局健康推進課、福祉局指導監査課などに勤務</p> 

1 研修の成果

- 参加人数が200名と多く、アンケート結果(以下参照)も好評であった。
 - ・講演内容について、前半・後半ともに「大変参考になる」75%「やや参考になる」22%
 - ・事例発表について「大変参考になる」62%「やや参考になる」33%
 - ・グループワークについて「大変参考になる」47%「やや参考になる」46%
- アンケート感想からも、災害時の給食施設の役割や、地域で連携する必要性を再確認する良い機会となったことがうかがえた。(以下、アンケート感想より一部抜粋)
 - ・非常時について改めて考えるきっかけとして、このような機会があるのがありがたい。
 - ・マニュアル・備蓄・地域ネットワークの必要性について具体的に詳しい話が聞けた。
 - ・日頃は他施設、異施設と交流が無いので意見交換が出来てよかった。
 - ・災害時対策マニュアル作成ガイドラインなどがあればよいと感じた。
 - ・施設内での周知徹底、地域住民や地元業者との連携等、やるべき事に気づいた。
 - ・近隣施設(2km以内)とのネットワークが育まれるような情報交換の場が必要。

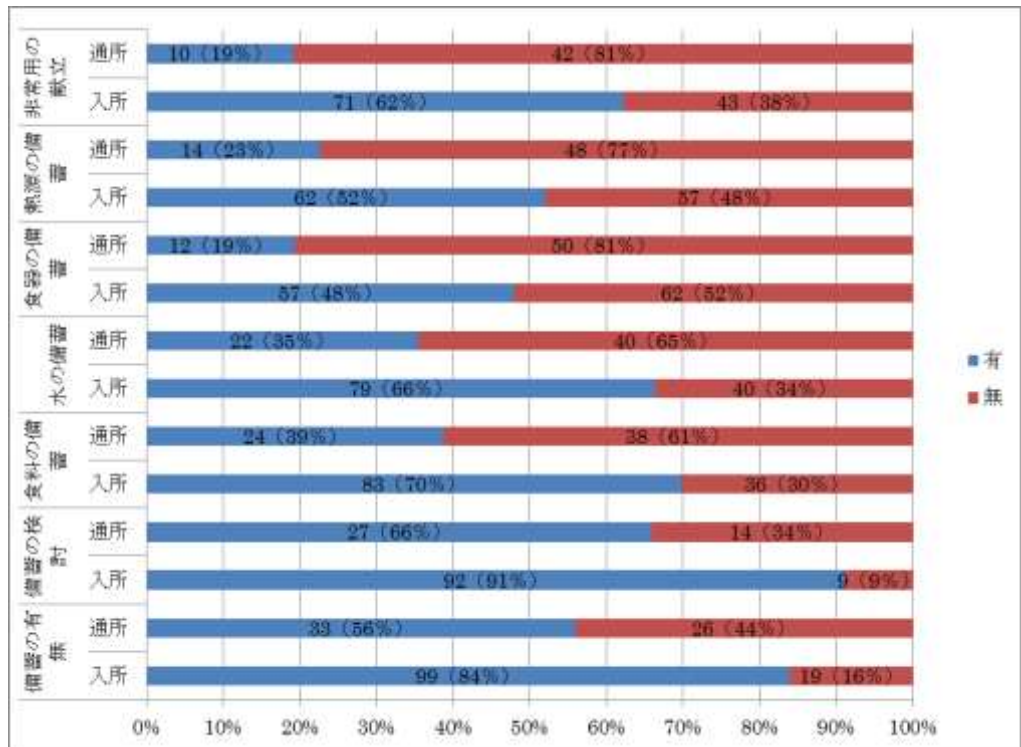
2 三保健所管内特定給食研究会が実施した「給食施設等の平常時のセルフチェック票」集計結果については以下のとおり。

「給食施設等の平常時のセルフチェック票」とは

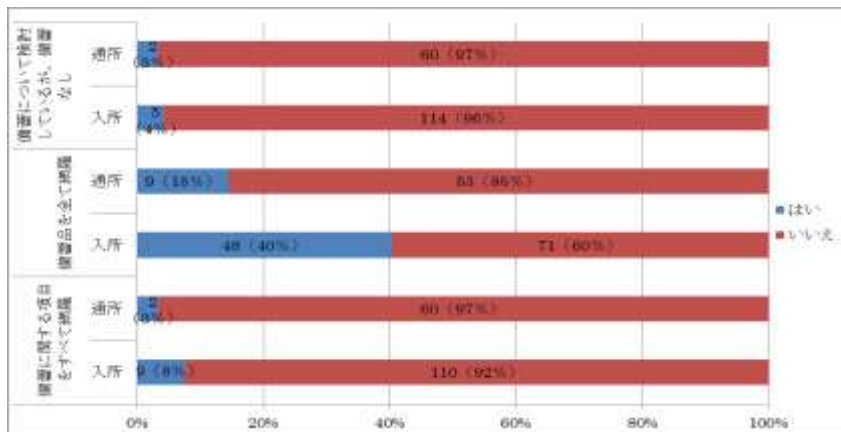
⇒各施設における危機管理体制、マニュアル整備、備蓄の活用、施設内外の連携などについて聞いた調査票

成果・感想

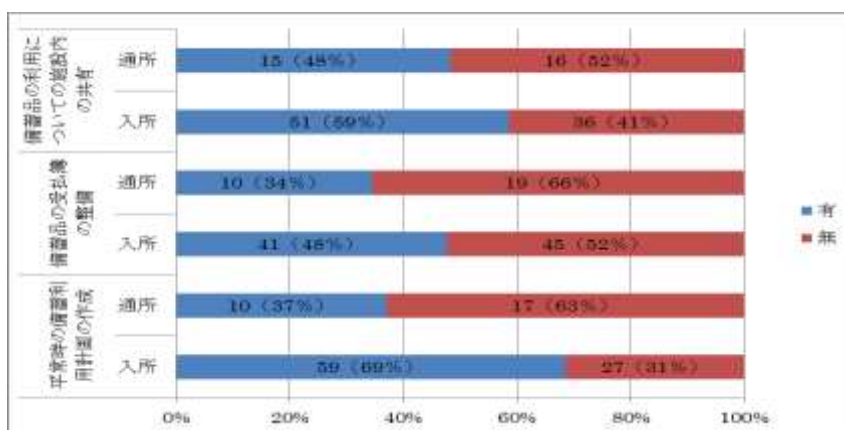
備蓄の整備状況



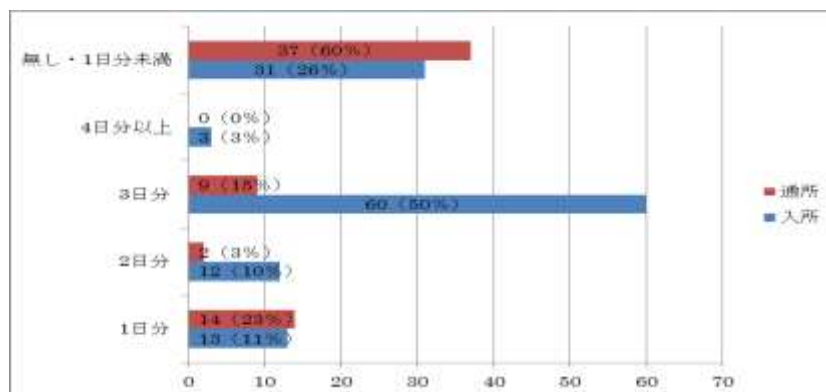
備蓄の整備状況の詳細



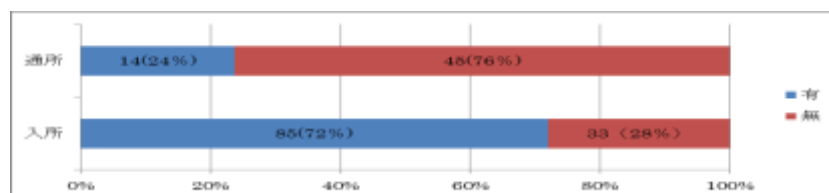
備蓄の運用



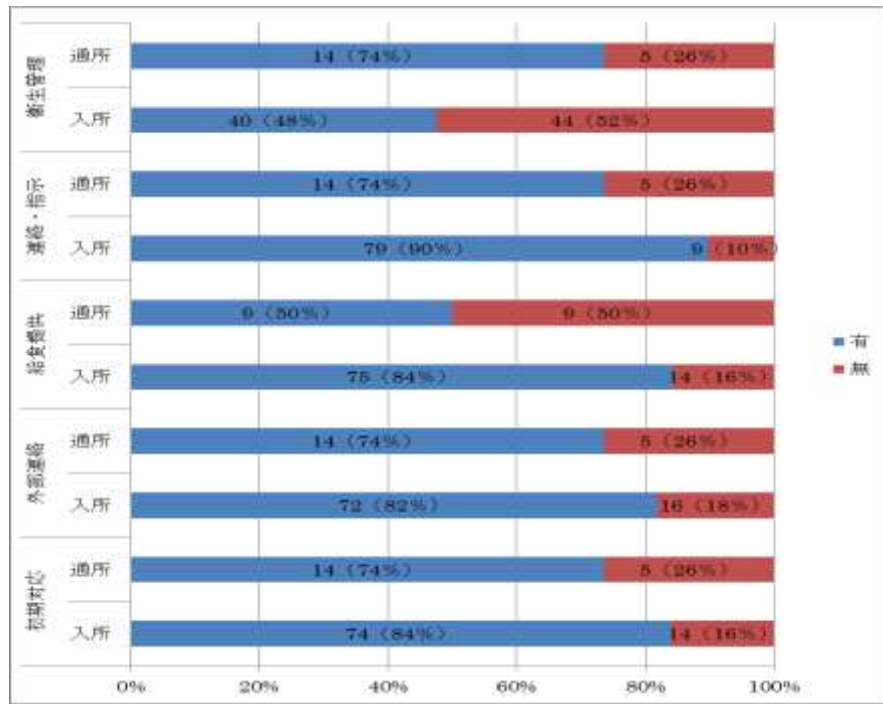
食品の備蓄量



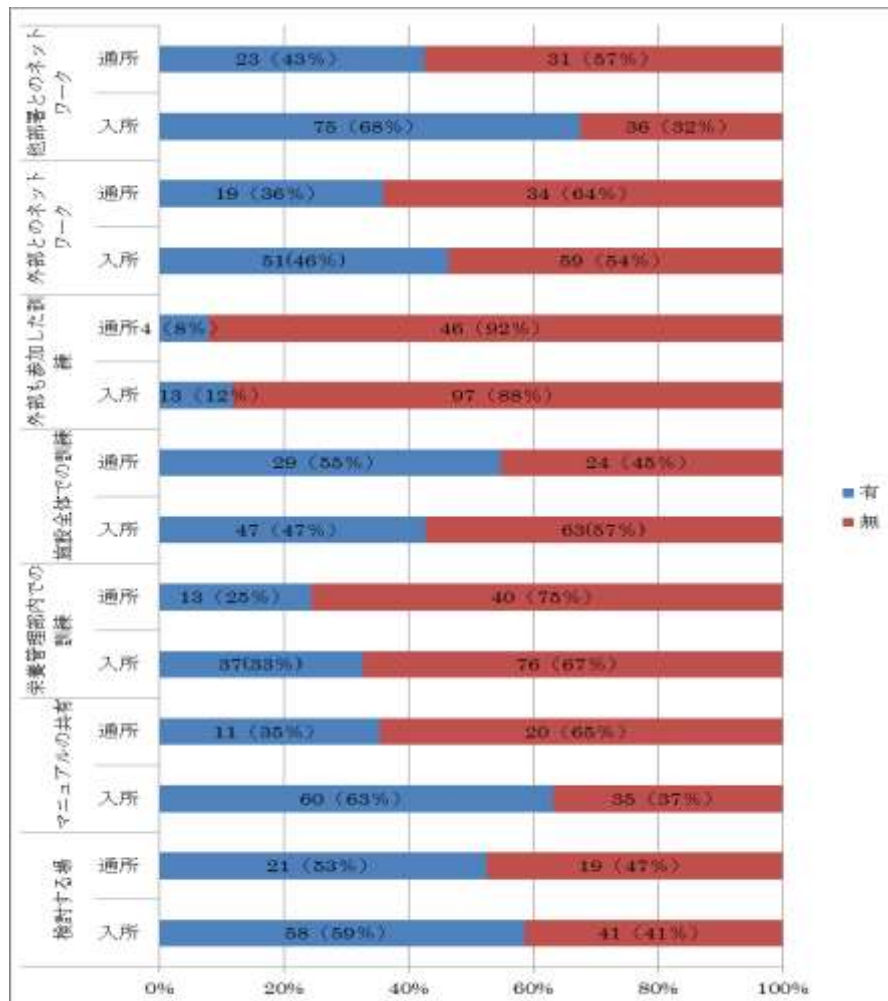
マニュアルの有無



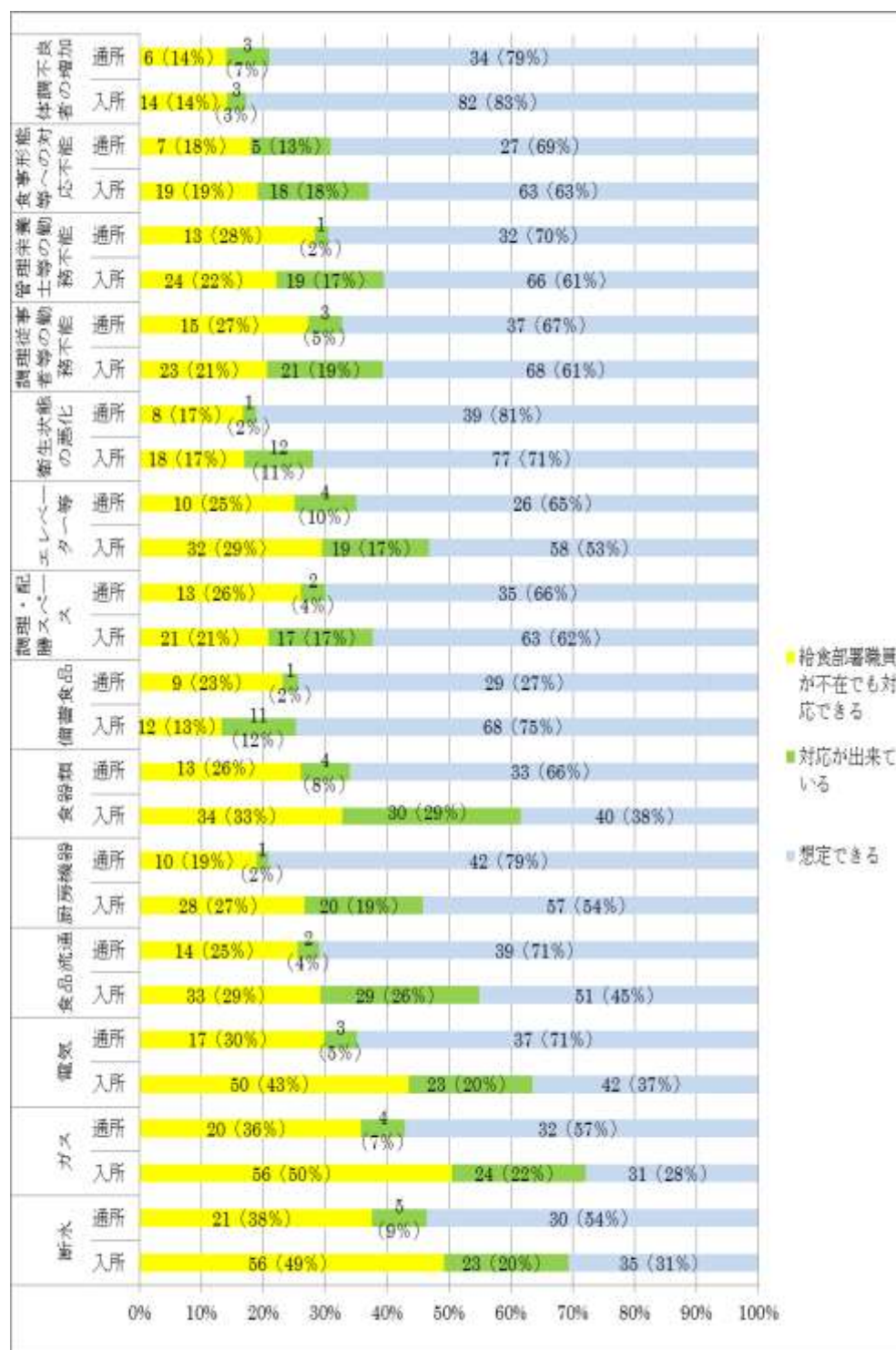
マニュアルの掲載内容



体制強化



連携の詳細



● 給食部署職員が不在でも対応できる
 ■ 対応が出来ている
 ■ 想定できる

担当窓口（連絡先） 富田林保健所 企画調整課 栄養士 （電話番号：0721-23-2681）